

令和5年度第4回  
新宿区外部評価委員会第3部会 会議概要

<開催日>

令和5年8月10日（木）

<場所>

本庁舎6階 第3委員会室

<出席者>

外部評価委員（5名）

稲継裕昭、桐山早苗、藤川裕子、松永健、安井潤一郎

区職員（2名）

出沼副参事（特命担当）、甲斐主任

<開会>

【部会長】

ただいまから第4回新宿区外部評価委員会第3部会を開催します。

本日は、評価の取りまとめとして、計画事業の評価、経常事業に対する意見の取りまとめ、最後に個々の事業の評価を踏まえて、施策評価の取りまとめを行います。

それでは、議事に入る前に、本日の配布資料の確認をよろしくお願いします。

【事務局】

今日の配布資料は、1枚目の次第と、その下の評価の取りまとめ資料です。昨年度と同様に個別施策ごとに、外部評価チェックシートを、個別施策の評価、計画事業の評価、経常事業への意見という順番でまとめています。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、評価の取りまとめを行います。

外部評価チェックシートには、各委員の評価や意見が記載されていますので、これを基に部会としての評価の取りまとめを行います。指名された委員の方は、ご自分の評価や意見の補足説明等お願いできればと思います。

初めに、計画事業について計画番号順に評価の取りまとめを行います。その次に、経常事業については、意見があった事業について番号順に意見の取りまとめを行います。最後に、個別施策について評価の取りまとめを行います。

では、まず、I-7のところの計画事業のほうということで、1枚めくってもらって、2枚目の21番、ワーク・ライフ・バランスの推進のところから始めたいと思います。

ここで、全員が計画どおりにしておられて、幾つかのコメントがございます。

私のほうは、周知方法がちょっと十分じゃないので、もうちょっと検討してもらいたいなという話を書いてあります。

**【委員】**

今、男性も女性もともに社会に進出し、それで一緒になって働いていくということで、まさしくワーク・ライフ・バランスという、ともに協力し合うということで。そうなりますと、やはり推進企業としても、特に中小企業、こちらのほうにもちょっと力を入れていただいて、働きやすい環境、またその上で活躍しやすいということで、いろんなワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度というのを設けてありますので、それを推し進める意味でも、やはり実施結果ということで3社というのが挙げられていますので、これは、これから検討する企業、または、今そこに存在しているもの含めて模範になるということで、それらで着実に成果を上げているということで、計画どおりということで評価させていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

ワーク・ライフ・バランス推進企業、宣言企業の認定を行い、講師派遣など企業へのサポートを実施したということで、計画どおりというふうに評価しました。

当初、新宿区内の企業数かなり多いのに、20 という数字は少ないというふう感じたんですけれども、その分きめ細かいサポートをしていること、それから、情報誌にて企業の紹介、表彰のポイントを記載するなどして、適切に推進する内容となっているというふうに評価しました。

**【部会長】**

ありがとうございました。

**【委員】**

ワーク・ライフ・バランスのことにに関して、私は計画どおりと書きました。仕事だけじゃなくて、仕事と、仕事以外の生活の調和を図るということは、若者たちにとっても非常に重要なことです。ただ、ワーク・ライフ・バランスに向けた取組を十分実施している企業はまだまだ少ないということですので、今後は更なる推進が必要なのだろうと感じました。

**【部会長】**

ありがとうございました。

それでは、今後の取組の方向性に対する意見です。私はありません。

**【委員】**

共働き世帯が年々増加する中で、企業にとっても働きやすい職場づくりは大事なものになってきます。やはりより多くの企業に、こういったすばらしいワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度があるということを周知して、もう少し認知度を上げていただくことで、働いている方のほうにもいい影響を及ぼすかと思いますので、そういった良い循環になる

よう期待したいところです。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

新宿区が行っている認定制度の仕組みを周知してほしいと思っています。推進企業であることが学生のリクルート活動やインターンの目安になるような、新宿区内の企業、事業所の価値を上げるものになってほしいということで、認定制度について周知をお願いしたいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございます。

その他の意見、感想をお願いします。

**【委員】**

ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度のパンフレットです。とても見やすいので、やはり多くの方の目に触れてほしいということ、書かせていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。この計画事業 21 について、もう一度前のページに戻っていただきまると、計画どおりということで全員が一致しているので、それでいきたいと思います。

その上で、皆さん書いておられることが矛盾するところはないので、全体を盛り込む形でまとめをするということによろしいですかね。

はい、ありがとうございます。

**【委員】**

すみません、追加なんですけれども、たまたまちよっと、平成 29 年の「内部評価と外部評価結果を踏まえた区の実践について」に、この事業の記載がありますので、当時の記載を少し読んでよろしいでしょうか。

**【部会長】**

どうぞ。

**【委員】**

達成度が低い要因として、小規模な企業に対して認定制度のハードルが高いということで、認定企業となった際のメリットの周知や企業規模に合わせた認定条件を整えるなどの、より企業側に沿った改善方法を考える必要があるのではないかというのが、外部評価委員会からの意見でした。そして、内部評価と外部評価を踏まえた区の実践として、中小企業がワーク・ライフ・バランスに関心を持ち取組を進めることが必要だと、企業規模が小さくなるほど関心が低くなるので、企業間のワーク・ライフ・バランスの実践について、具体的な効果についての情報を得にくいから、中小企業向けの支援の強化をしましょうということが書かれています。

なので、それを踏まえて、このように変わってきたということと、そのときに情報誌、ウ

イズ新宿へ、新たにワーク・ライフ・バランスの好事例を紹介するコーナーを設け、さらなる周知、情報提供の拡大に努めていきますとあったので、そのときの対応によって情報誌に掲載ということができたということなので、それがよかったというのをもし記入できれば、お願いしたいと思います。

【部会長】

それは、過去の外部評価の結果を踏まえて進捗しているもので、それは認めてあげたいという、そういう趣旨ですね。

【委員】

はい。

【部会長】

それを加筆していただくということで。

【委員】

あと、もう一つ、推進企業になった飲食店のねぎしフードサービスですけれども、新宿サブナードにもお店があって、ちょっと入り口だけのぞいたんですけれども、特に何も掲示されていなかったの、例えば、新宿区のワーク・ライフ・バランス企業ですということを表示できる、宣伝できるようなものがあればと思いました。

【部会長】

ありがとうございます。では、そのことも加筆してもらえればと思います。

今後の取組の方向性に対する意見として、これは矛盾しているところはないので、全部載せる形でいいですかね。

それから、その他の意見・感想というのは、パンフレットについての高評価、現場の意向をもっと聞くべきだという意見、2つ違う意見なんですけれども、これは矛盾していないと思うので、どちらも載せるということによろしいですかね。ありがとうございます。

【部会長】

では 21 番のところは今の方向で、事務局でまとめてもらうということでお願いします。

22 番、若者の区政参加の促進というところで、評価は 5 人とも計画どおりです。

私のほうは、若者の区政参加の促進という非常に大きな目的を持った計画事業であるのだけれども、指標が若者会議への参加者、それから区政への関心度となっているのは、取組として不十分なのではないかという意見です。以前この会議で申し上げたと思うんですけれども、区のいろんな、多分 100 以上の審議会があると思うんですけれども、その審議会へ若者、40 歳以下の人が委員として入るような仕組み、例えば J C、青年会議所は 40 歳で定年になるので、そこに所属する人を審議会等に入れている自治体は多いんですが、新宿区ではそういう取組はないみたいなので、そういうこと検討してはどうかという趣旨で、今の指標だけでは不十分じゃないかということを上申しているつもりです。

【委員】

まちづくりを進める上でも、若者の区政参加は欠かせないものです。そのきっかけづくり

のため、区にはしんじゅく若者会議という取組があるということを、もっと幅広く周知するとともに、しんじゅく若者会議をもう少し有効に使うって、いろんな意見を出し合える場としてももう少し有効に使うことで、さらにその内容を深めていただきたいなという思いです。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

しんじゅく若者会議の開催により、若者の積極的な意見を聞くことができ、町会長との意見交換など、理解を深めることができたということで、計画どおりと評価します。

会長がおっしゃったように、開催して終わりではなくて、次にどのように生かすかということで、それを今後の取組の方向性に対する意見のほうで書かせていただいたんですけども、会議を開催して終わりではなくて、開催結果を他の取組への参加につなげるよう、水平展開していただきたいという提案です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

町連では、若者と意見交換しやすいよう、町連の中では若い2人を選んで今回の若者会議に出させたということだと思えます。今後、町連として若者と交流していくためには、理事が若返っていかなくちゃいけないかなと思いました。

そういったことを踏まえ、4、5年後を見据えて取り組んでいく必要があるんじゃないかと思っております。

**【部会長】**

どうもありがとうございました。

この評価のところでは、計画どおりというところでは一致しておりますので、それでいきたいと思えます。その上でなんですけれども、今のしんじゅく若者会議の取組状況が順調で、実績値も高いので、その点は評価できるというのが一致した意見です。

他方で、実際の区政への若者の参加、水平展開、普及啓発の努力が必要だということも、併せてちょっと書くということではいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

今後の取組の方向性に対する意見です。私のほうは、若者の区政参加の促進という計画から見た場合、現在の指標が適当なのか、大いに再考の余地があると。若者会議への参加イコール区政参加の促進にはなりません。何万人もいる区民、若者の区民ということでは、そのうちの僅か数十人程度の話です。特定の少数者の1回限りのイベントへの参加にすぎません。区政の参加の促進ということを考えるなら、新宿区の全ての審議会における若者の参加比率を向上させる、青年会議所からの参加を必須とするなどの取組が必要ではないかと思っております。

**【委員】**

私は、しんじゅく若者会議での工夫ですね。インターネットを使っての参加しやすい工夫

が見受けられたというのは良いと思いましたので、引き続き発信していただきたいなという記事を記載しています。

あと、若者の世代から引き出された意見やアイデアですね、その中には素晴らしいものがたくさん埋まっていると思いますので、今後の区政に反映されていくことを期待したいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

若者会議を開催して終わりではなくて、その結果を若者の区政への参加につなげるように展開してほしいということ。それと、部会長がおっしゃったように、今後の取組についても、今回若者会議が成功したので、次も同じように会議を成功させようという、そういう理解になっているような気がするんですけども、やはりそうではなくて、もっと積極的に若者参加ができるような企画なり、そういう機会をつくるという方向に、もうワンステップ進めていただきたいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございました。

他には、開催を増やすとか、議員経験者も参加してもらいたいという意見が出ております。

ここでまとめるとすると、1つは、所管課が書いている今後の取組方針の中で、インターネットとかオンライン会議とか云々と書かれているところについては、評価できるということを書くのが1つと、もっと横展開とか、大きなところへの参加を希望したいということが2点目ということ、その2つにまとまるかなというふうに思いますけれども、よろしいですか。

それでは、その他意見・感想をお願いします。

**【委員】**

こういった機会を与えていただきましたので、やはり私もここで発言して終わりではなくて、私自身もよく見つけ直してみても、若者の人との交流する、まずそういったきっかけも、自分も入っていくとか、いろんなところでやはり交流する機会を積極的に見つけないと、なかなか何が必要で、何が求められているかということが、とても近づいていけないとか、理解できない部分が往々にしてあるかと思っておりますので、いろんな機会を通じて、ちょっと意識しながら、いろんな年齢層の人との触れ合いを大事にしていきたいなというふうに思った次第です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

若者は大事な人材です。町会でイベントをやると、若者は我々が考えられないようなアイデアを考えて話を持ってくるんです。それに対して、我々がいかにそれを実現させていくか

というところが、重要な課題なんじゃないかと思っております。

【部会長】

ありがとうございます。

いま頂いたコメントは感想ということで、評価報告書のほうには載せないということでよろしいですかね。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございました。

今、計画事業 22 の若者の区政参加の促進について、評価、今後の取組の方向性に対する意見のところを見ていただきました。取りまとめの方向性は先ほど申し上げたとおりですが、何か補足とかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、次のページで、経常事業取組状況で、ワーク・ライフ・バランス企業応援資金のところ、283 番ですね。私が、ゼロ件というところは、もうほかにもいっぱい、都もやっているし、政策金融公庫もやっているの、区の独自展開は必要ないんじゃないかということを書いております。それから、現場の意向をもっと聞く必要があるんじゃないかというご意見もあります。この2つを意見として載せるということによろしいですかね。

ありがとうございます。

それから、285 番、図書・資料による情報提供です。

【委員】

すみません。男女共同参画推進センターのほうを見学に行かせていただいて、その図書コーナーがかなり充実していたということと、そこが、女性推進センターというよりも、ちょっと地域センター的な、地域の集まりのようなものに従事していて、なおかつ、かなり老朽化というか、開館してからも時間がたっているの、そういった図書・資料による女性問題のアーカイブ的な、そういうものと、地域センターとしての役割を分けて考えたほうがいいのかなと思って、ちょっと考えがまとまらず、申し訳ありません。

次の悩み事相談室もそうなんですけれども、ちょっと手狭で、本当に相談室としても狭くてちょっとかわいそうな感じもしたので、その後、四谷の保健センターのほうも見させていただいて、あそこもいろいろな課が入っていて手狭ではあるかもしれないんですけども、例えば、その一角に部屋を設けるとか、そういうような形もできるのではないかなと感じました。

【部会長】

ありがとうございます。男女共同参画推進センターの位置づけの話になると、結構大きな話にちょっとなるんですね。

【委員】

そうですね。それで、すみません、さっきお話が出たしんじゅく女性団体会議の話なんですけれども、たまたま知っている人が新宿区家庭教育グループ連絡会のほうの名前があったので聞いたら、やはり長い間、区と一緒にあって会議の運営を主催していたけれども、コロナ禍でそういう活動もできなくなったということで、これはちょっと、評価の話とはずれてしまうかもしれないんですけれども、やはり女性問題が、婦人問題とか女性問題の活動をしてきた、いわゆる団塊の世代の方たちが、引き続き今も頑張っていていらっしゃるということなので、それをどうしていくかというのを、ここで話すこととはちょっと違うかもしれないんですけれども、今まで頑張ってきたので、これからも頑張ってくださいというお話なのか、それとも、頑張ってきたことを次の世代につなげましょうなのか、あるいは、頑張ってきたことを記録として、いただく課題として残していましようという、そういうことなのか、何かここで1つ、このままだ消えていくのではなくて、何か残してほしいなというのが、私の感想ではあります。

さっきの若者をもっと区政に参加させようという話で、会長のほうから、いろんな区の審議会にもっと若者を参加させようというときに、やはり審議会がどうしても働いている時間帯にあるので、関心があっても参加はできないというのがあると思うんですが、そうすると、今まで女性で頑張っていた人たち、PTAで頑張っていた人たちと、やはりずれていく部分があると思うんですね。例えば、審議会を夜に開催しましょうとか、そういうところのこれからの提案と、あと今まで頑張っていた方たちの記録として残すか、頑張ってくださいって応援するのか、そこら辺を何かちょっと考えるときかなというふうに、ちょっと今回視察して感じました。

#### 【部会長】

男女共同参画推進センターの位置づけということで言うと、事実上地域センター化しちゃっているということなら、私の 287 番のほうでもっと周知して、もっと利用してもらったらどうかということを書いたんですが、他方で、ここは男女共同、女性参画のとりで的なところを重視すると、もっと違った活用の仕方とか、もっと違う書物の置き方とか、もっと違ったアーカイブのつくり方とかという話が出てくるんですね。

だから、全然新宿区としてはどういう方向に行こうとされているのかということが、我々も実はちょっと、あそこへ行ってよく見えなかったもので、その辺は一体どこに書いたら。おっしゃることは、そのとおりなんですよ。どこのところに、こういうのを書いたらいいんですかね。ちょっとそれが分かんない。

多分、1-7のところの一番最初のページか、その裏ぐらいのところにそういう話を書いたほうがいいんですかね、多分。これは、後でまた議論しましょう。なので、この図書・資料による情報提供のところは……

#### 【委員】

なしで。

#### 【部会長】

なし。はい、分かりました。これは、もっと大きな話なので、もっと前へ持っていきましよう。

286 番、悩み事相談室は、今おっしゃったことですね。ちょっと手狭に感じた。

それから、287 番のところは、地域センター的な役割でいうと、私書いておりますけれども、未使用のロットが非常にもったいない。多分、普通にあの辺の会議室の使用料でいうと、半日で2万円とかするような、そういう場所なのに、1,000 円とかなんだけれども、誰も借りていないところがあるというのはもったいないから、もっと利用してもらったらどうかということは、一応書いてあります。

それから、290 番のところでは、私が書いているのは、男性の育児・介護サポート企業応援事業については、都でも同様の制度があるので、利用しているところはそっちにいていんじゃないかという気がするので、もう廃止しちゃっていいんじゃないでしょうかということを書いております。

これらの今までの議論を踏まえて、一番最初のページに戻ります。I-7、女性や若者の活躍できる地域づくりの推進というところで、総合評価としてはおおむね順調に進んでいるということを進めたいと思います。

その上でなんですけれども、まず私のほうは、計画事業 21、22 につき、現在の指標から見ると書いていますが、これは、私がさっき申し上げた若者の区政参加の促進という指標がちょっとどうなのかということを指しております。なので、これは、ここの表現はちょっと削ってもらって、後ろのほうで書いてもらったら結構なので、ここに出していただく必要はないです。

#### 【委員】

男女共同参画として、男性、女性問わず、個人をまず尊重し、性別にとらわれず多様な生き方、働き方を認め合う地域社会づくりは必要不可欠なものですということ、やはりどうしても男性にしても女性にしても、一人も取り残さない、またそういった頼れるところがあるんだということの取組がされているということは、大いに評価できるころだと思います。

また、その若者にあっても、若者のつどいやしんじゅく若者会議を通して、区政や地域への関心の高まりを積極的に推し進めているということから、おおむね順調に進んでいるということの評価させていただきました。

#### 【部会長】

ありがとうございます。

#### 【委員】

ワーク・ライフ・バランスが実現するまちを目指す様々な施策が効力を発揮していると感じたということで、おおむね順調に進んでいると評価します。

その一方で、これはちょっと、自分でもどう書いていいか分からなかったんですけども、目指すまちの姿・状態のところに、学校や職場でつまづきを経験した若者が、やり直しなが

ら自分らしく生活できるまちと書いてあるのが、なぜなのかなというか、ちょっとこれが見えていないように感じました。ちょっと指摘すべきことなのかどうか分からないんですけども、一応書かせていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

私のほうは、一応おおむね順調に進んでいるというふうに書いてありますけれども、特に、男女共同参画の推進とか、それからワーク・ライフ・バランス、あるいは若者区政、私も若者区政の中でも、はたちのつどいとか、いろんな意味で若者のいろんなイベントを行っていることと、あと、配偶者からの暴力の防止ということについては、やはりいろんな冊子を見んなに見せて、みんなというか、ある特定の方にお見せして、それが関心度を高めたりするというので、順調に進んでいるんじゃないかと思って、順調に進んでいるというふうに書きました。

**【部会長】**

ありがとうございました。

皆さん、総合評価はおおむね順調に進んでいる、となっているので、総合評価はそのように取りまとめたいと思います。

その上でなんですけれども、委員ご指摘の、めざすまちの姿の「学校や職場でつまづきを経験した若者が、やり直しながら自分らしく生活できるまち」に向けた取組が見えづらいというところは、それについての具体的な取組が見られなかったぐらいの感じを、この総合評価のところに加えるということによろしいですかね。

ありがとうございます。

**【委員】**

性別役割分担意識に反対する人の割合は、年々増加傾向にありますと。やはり固定観念で、男性は仕事、女性は家庭といったことなく、お互いに協力し合いながら、そして自分らしく生きていくということで、それをもって社会に参画できる環境作りというのは非常に大切なことで、一人一人の人格を尊重するというにも値してくると思いますので、今後こういった取組も引き続き行っていただきたいという考えです。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

しんじゅく若者会議において交わされた意見を、各町会、自治会に展開して、今後の活動に生かせるようにしてほしい。また、ワーク・ライフ・バランス認定制度についての周知に努め、新宿の企業で働くことに魅力を感じるツールの1つとしてほしい、と記載しました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

他には、若者に何度もやり直せると伝え、人権問題は自分自身の問題と分かってもらえる啓発活動をお進めくださいとのご意見ですね。まさに今、先ほど議論した話にも関わるところなんですよ。なので、これも含めて、今、4人の委員が書いているところを全部載せてもらうということによろしいですかね。

ありがとうございます。

その他意見・感想をどうぞ。

**【委員】**

ウィズ新宿ですね。私も知らなかったんですけども、とても見やすく、やはり女性にスポットを当てた情報誌になっていますので、こういった活動をしているすばらしい方々のご紹介含めて、情報誌を通じてより多くの方に知っていただきたいということで、私のほうの個人的な感想なんですけれども、愛読していきたいなというふうに思っています。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

取組の方向性に載っているはたちのつどいについてですが、外国人の参加者が多いということで、参加者自身、区内の参加者が少ないということで、いろいろ言われているんですけども、新宿で行う式典に参加することを楽しみにしている家庭も多いので、続けてほしいと思います。私の身近でも、出身の高校のほうであるからとか、大学のほうであるからという人は多いんですけども、やはり新宿で行うという意味が大きいと思います。東京出身者には故郷がないと言われますが、ふるさととは新宿と言えるように、若者には育ってほしいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございました。

**【委員】**

男女共同参画は大分進んできておりますけれども、まだまだ男性のほうが優遇されていると感じることがあります。性別に関わりなく、全ての区民がその個性と能力を十分発揮し、家庭や地域社会、職場と、あらゆる分野に参画できる社会の実現、それには意識啓発に向けた取組や情報提供が必要であるということを感じております。

**【部会長】**

ありがとうございました。この3つの意見、感想、個人的な意見でもあるけれども、ウィズ新宿すばらしいねとか、そういう評価をしたという、そういうことで3つとも載せるということによろしいですかね。

ありがとうございました。

それでは、1-7のほうで、先ほど出た課題がちょっと残っていて、要するに、男女共同参画推進センターの位置づけをどう考えるのかということ、ここでちょっと問題提起という形で載せておいたほうがいいかなと思うんですね。載せる箇所が、1枚目の最初のペー

ジ、総合評価のほうなのか、あるいは今後の取組の方向性に対する意見、今後の取組の方向性に対する意見というのは、内部評価で書かれている取組の方向性に対する意見ということですよ。

**【事務局】**

今後の取組の方向性に対する意見か、その他意見のところに入れるかですね。どちらがいいでしょうね。

**【部会長】**

どっちがいいのかしら。その他の意見ですかね、今後の取組の方向性には、全然センターの在り方みたいなことはどこも書いていないので、その他意見のところに、センターの位置づけについて、新宿区としての方向性をしっかり見極めてもらいたいみたいな、そんな感じになりますかね。要するに、センターとして続けるのか、地域センターを主とした形で、女性活躍だとか、そういったことはアーカイブ化していくのかということ、ちょっと新宿区役所の方向性として決めていただきたいとか、今後考えていただきたいみたいな、そんな感じになりますかね。

**【委員】**

はい。

**【部会長】**

ここのその他意見・感想のところ、入れていただくということにしたいと思います。

ありがとうございました。次にⅢ-16、平和都市の推進のところにいきたいと思います。

計画事業 64、平和都市の推進については、5人とも計画どおりなので、計画どおりということできたいと思います。

その上でなんですけれども、私のほうは、現在の指標から見ると、計画どおりという評価となるということで、説明はこの下のほうに書いていますけれども、指標の1の平和啓発事業の推進というのは、これ、指標になっていないと思ったんですね。何かやっていたら、推進しているということになっちゃうので、64番の1のほうの推進、推進、推進と書いてあるのは、推進以外は何があるんですかね、停滞になるとか。そんなこと書くわけなし、この指標自体ちょっと変だなと。2番のほうは分かるんですよ、割合が何%というのは、この1番の指標はちょっと変だなと思いました。

**【委員】**

根幹が、戦争は二度と起こしてはならないといった各個人が強い意思の下、区民一人一人が日々平和の大切さを胸に刻むことは、とても大事なことです。こちらの成果指標の1のときに、平和コンサートとかの平和啓発事業の参画、私も400人が妥当なのかどうかが、この辺もよく何かすっきりしない部分があるんですが、でも、毎年欠かさず事業として行って、より多くの方が毎年参加している実績があるということで、計画どおりということで評価させていただいたんですが、ちょっと疑問に思ったのは、400人が数的にどうなのか、正直なところ分からないなど、多いのか、それともこれが妥当なのかというのが、その

辺を教えていただきたいと思います。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

平和展、親と子の平和派遣事業など、次世代に平和を伝える取組がなされているというふうに、計画どおりと評価しました。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

令和2年度、3年度は、新型コロナウイルスの影響により多くの事業を中止せざるを得なかったけれども、区立中学、養護学校のほうでは、被爆体験講話をオンラインで実施したと。また、平和のつどいをオンライン発信したんだと、コロナ禍でやっぱり授業実施方法の工夫を図ったということ。

また、平和のポスター展ですね。絵で平和を啓発することも、非常に重要なことではないかと思っております。そういったことを踏まえ、計画どおりとしました。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは計画どおりとさせていただいて、皆さんが述べておられるところをそのまま載せるような形でいいですかね。

ありがとうございます。

今後の取組の方向性に対する意見ということで、私のほうからは、先ほどちょっと申し上げましたけれども、一番後ろのページに載っている1番、平和啓発事業の推進で、目標値、実績値、推進、推進とある、これちょっと指標じゃないので、ちゃんとした指標を考えてくださいということを書いてあります。

【委員】

特に若い世代に、やはり戦争体験者である生の声の講和等を通じて、引き続き平和啓発活動を行っていただくということが一番重要だと思っておりますので、こちらを期待したいと思えます。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

平和展、親と子の平和派遣、平和ポスター展の実施を続けて、平和の大切さを伝えてほしい。戦争体験者の話もちろんですけども、平和派遣で広島、長崎に行った子どもたちの体験談も伝えるような形でお願いしたいと思えます。

【部会長】

ありがとうございました。

ここでは2つ、3つですかね、今後の取組の方向性に対する意見がありまして、1つ目は、私は指標開発をしてほしいと書いております。それから、桐山委員と藤川委員は、引き続きやってもらいたいと同時に、アーカイブ化してほしいということをまとめるという形で、2つ目の意見として書く。それから3つ目は、連携構築をしてもらいたいというのがあるということで、今後の取組の方向性に対する意見としては、3つの意見を述べるということによってよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

その他意見・感想、お願いします。

**【委員】**

すみません、これも感想なんですけれども、こういった機会を通じて、やはり二度と起こさないということを身に覚えておくという意味でも、やはりいろんなすばらしい書籍がありますので、そういったものも通じて、やはり教養として学んでいきたいというふうに感じた次第です。

**【部会長】**

ありがとうございました。これは、そうすると個人的な感想なので載せないで。

前のページに戻りまして、Ⅲ-16、平和都市の推進についてです。

総合評価のところですけども、先ほど申し上げたように、4人がおおむね順調ということなので、おおむね順調に進んでいるということにしたいと思います。

その上で、私のほうは、先ほど申し上げたとおりで、後ろのほうで、64番の計画事業のほうのところ述べていますので、ここでの、2つ文章ありますけれども、後ろのほうはちょっと載せなくていいかなと思います。

**【委員】**

新宿区平和都市宣言の趣旨の下、区民一人一人が片時も忘れてはならない恒久平和を願う思いです。先ほどの委員会のほうで、新宿区平和都市宣言のほうを見てきましたけれども、やはりこの活動として、平和展、また親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業などを通じて、さらに平和の大切さを伝える講演や新宿区平和都市宣言35周年記念事業、平和のつどいの配信で、やはりオンラインとか、そういった実施方法を工夫しながら、着実に事業を進めているということで、おおむね順調に進んでいるということで評価させていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

藤川委員、お願いします。

**【委員】**

戦後70年以上経過して、戦争を知らない世代が大人になって、さらに次の次の世代へとつなげていくことが、ますます重要になっていると思います。コロナ禍の中、オンラインで事業を実施するなど、工夫して事業を行い、戦争体験談のアーカイブ化、平和ポスター展の

実施など、継続して続けていることが大事だと感じました。平和都市宣言の趣旨を周知し、理解を深めることが大切というふうに、総合計画の 122 ページにあるんですけども、平和都市宣言の記念碑が区役所にあることを知らない人も多いのではないかと思います。そういうことを周知させていくことも必要かと感じました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

わたしのほうも、皆さんと同じような感じなんですけれども、やはり平和を啓発するということは非常に大切なことではないかと思っています。現在も、非常に大変な被害を被っているところありますので、これは言葉では表せないでしょうし、そういう意味でも、皆様には、何とかこれは食い止めなきゃいけないよということでやっていると思いますので、そういう意味で、いろんなコンサートとか、あるいは展示会、平和展というのをやっていますので、そういう意味でも順調に進んでいるんじゃないかと思っています。

**【部会長】**

ありがとうございました。

そうすると、私を除く 4 人の方は、大体方向性としては一致しているので、それを、ダブったところは削る形でまとめていただくということによろしいですかね。

その下の今後の取組の方向性に対する意見です。

**【委員】**

引き続き平和イベント等の取組で、皆が平和の大切さを感じていくということを願うと同時に、やはり当たり前としている、普通に寝て、起きて、ご飯食べられて、安心して学校や仕事に行けるという、こうした当たり前の日常ということも、これも平和の 1 つなんだということ、やはり個々、一人一人が感じ取るということはとても大事なんじゃないかなというふうに、イベントもちろんそうですけれども、個々を照らした中においても、そのように感じました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

取組の方向性として、今後も引き続き平和展、親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業など、平和啓発事業に取り組みますとありますので、それを続けていただきたいということと、課題、ニーズに、戦争体験者が減少する中、戦争体験談のアーカイブ化を進めるとともに、活用していくことが重要だとありますので、そのことに関しても期待したいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございます。

他には啓発についてコメントがあります。これらの 3 つのことを、そのまま取組の方向性

に対する意見として載せるということによろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございます。

その他意見・感想です。

**【委員】**

これも感想なんですけれども、今年の5月にG7広島サミットが開催されまして、やはりあぁいった報道も通じて、引き続き核兵器のない世界や平和の大切さ、尊さを、皆さん一人一人が胸に刻んでおきたいという思いで書かせていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

平和都市宣言とその文章が書かれた掲示板が区役所の前にあること、平和の泉があること、長崎、広島の花があること、そういったことを知らない人も多いのではないかと思います。また、区役所に行かずに、オンラインやいろいろな行政手続もできるようになると、区役所を見る機会もないので、ますます分からなくなっているのではないかと思います。

個人的な意見なんですけれども、例えば、3月15日に平和都市宣言のイベントを行うとか、本当に個人的な意見なんですけれども、平和の灯のキャンドルをともすキャンドルライトアップなど、そういった取組も企画してはどうかという、個人的な提案です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

それでは、周知啓発のご意見と、団体との連携のご意見を掲載するというところによろしいでしょうか。

ありがとうございます。

次はV-1、行政サービスの向上のところ、さらにめくってもらって、69番、多様な決済手段を活用した電子納付の推進ということで、決済手段のところについては、全員が計画どおりというふうに印をつけておられるということで、計画どおりということでいきたいと思います。

私のほうは、便利な決済手段導入は評価できると書いています。

**【委員】**

公金の納付について、交通系電子マネー、PASMOとかSuicaなんです、そのほかコードを使つての決済、スマホ決済ができるようになりました。これらは、区民の利便性向上を図り、使い勝手のよさの決済手段に取り組みました。これらのことを踏まえて、計画どおりと評価させていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

行政サービスの向上、ICTを活用したサービスにより、区民の利便性を図っていくこと

ができています。コード決済の導入、交通系電子マネーの導入なども図り、区役所への好感度も50%を超えているということで、順調に進んでいると評価しました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

区民がやりやすいような方法、分かりやすいような方法で手続きできるよう検討していると感じましたので、おおむね順調に進んでいる、としました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

皆さん非常に高評価をされているということで、これをまとめる形で計画どおりという、そういう評価をしたいと思います。ありがとうございました。

今後の取組の方向性に対する意見として、幾つか出ております。

私のほうは、こういった支払いに関して、自動レジシステムを導入し無人化できないか検討いただきたいということで、ほかの自治体、例えば、鳥取県の大山町とか、幾つかの自治体で自動レジシステムを導入するところが増えてきていますね。お金を扱ったり、あるいはQRコードを扱ったりという、先ほど見たら、やはり人が立っていて待っているわけですね。現金選びますか、QRコードですか、キャッシュレスですかみたいな感じで、それについては、キャッシュ払いだと、そこで受け取るということになりますので、あれを見ると、何か硬貨のお釣りが出るようなところもあったので、お金は自分で入れてということになるんでしょうけれども、呼ばれた上で、出て行って支払い手续をするので、人が介在しているんですよね。人手が取られちゃっているの、もったいなと思いました。

**【委員】**

やはり今、コンビニでも、セルフレジで無人で買い物できるところもありますので、そういったニーズは高まっていくんじゃないかなというふうに、ちょっとすみません、ここに書いていないんですけども、感じた次第です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

他の意見としては、不慣れな区民等に対しての対応も考慮くださいということで、これは、私の書いていることとはまた別の配慮が必要だという話なので、この2つの意見を主に書いていただくということによろしいですかね。

ありがとうございます。

その他意見・感想、お願いします。

**【委員】**

すみません、先ほどと重複するんですが、やはり日常の買物の支払いでも、今もう現金をほとんど使うことなく、そういった電子マネーとかQR決済とかで、スマホ1つで買物ができる時代になっていますので、やはり行政のサービスのほうもこういったものを活用しな

がらしていただくと、より親しみやすいというか、便利さが向上するんじゃないかなといった思いでいます。

【部会長】

ありがとうございました。

【委員】

今後、区役所の手続きが機械化された場合、高齢者が取り残されないように、対策を講じていただきたいと思っております。

【部会長】

ありがとうございました。

ここでも、やはり今後の取組の方向性に対する意見と同様に、今後ますますキャッシュレス化が進むので、そういう方向性をやってほしい。ただし、誰一人取り残されないDX化というのが、日本の自治体DXの趣旨に総務省の通知でもらっていますので、そういったところも配慮いただきたいという、そういうご意見があったということですね。そういうことでお願いします。

では、計画事業 70 番、行政手続のオンライン化等の推進です。

これは、全員が計画どおりということなので、外部評価委員の評価として計画どおりということでもとめたいと思います。

その上で個別の意見ですけれども、私は、手続数が増えていることは好ましいと書きました。

【委員】

行政手続の電子申請導入手続数も、令和4年度の目標値の65に対して、実績値が167と大きく上回り、また令和3年度の実績値と比較しても、2倍以上の導入数で高い達成度がうかがえました。やはり行かない窓口で24時間申請手続を可能とするといった電子申請を推進させたということで、計画どおりということで評価させていただきました。

【部会長】

ありがとうございました。

【委員】

24時間申請可能な電子申請を推進しているということで、計画どおりと評価しました。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

区民の利便性の向上を図るために、利用者のニーズに対応する姿勢が感じられましたので、計画どおりとしました。

【部会長】

ありがとうございました。

皆さん非常に高評価ということで、ここに書かれた幾つかの文言をまとめる形で、評価と

いうふうにさせていただきたいと思います。

今後の取組の方向性に対する意見ををお願いします。

**【委員】**

まだ電子申請が可能な行政手続についても、積極的に導入を進めていただきたいということを期待したいです。

**【部会長】**

ありがとうございます。

他には、他県の事例も積極的に取り入れる姿勢をお示しいただきたいということで、これは先ほどの意見と同様に、今対応可能なものだけじゃなくて、東京電子自治体共同運営電子申請サービスという、その項目以外でも、区民が求めているものがあれば載せてもらいたいということなので、2つの意見をまとめる形で、今後の取組の方向性に対する意見としたいと思います。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

その他意見・感想、どうぞ。

**【委員】**

こういった行政手続のオンライン化の推進を行うことで、やはり区民の一人一人が行政の参加や関心が高まることを望みたいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございます。

これも、その他意見・感想として載せていただければというふうに思います。

経常事業 654 窓口案内業務委託へのご意見が出ております。よろしく願いいたします。

**【委員】**

高齢者とか障害のある方、外国人がますます増えていることから、窓口の案内、申請書の記入方法の説明、誘導を行うフロアアシスタントを配置することは、必要不可欠ではないかと思っております。

**【部会長】**

ありがとうございます。この意見を掲載するというのでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、V-1、行政サービスの向上の取りまとめです。

おおむね順調に進んでいるというのが5人の意見で一致したところなので、外部評価委員の評価としておおむね順調に進んでいるということにしたいと思います。

私は特に意見ありません。

**【委員】**

今やお財布代わりの役割を果たすスマートフォンでの決済で、街中ではあらゆる店舗等で交通系電子マネー決済やコード決済が導入されています。これらの行政サービスの納付時の決済手段においても、これらの決済が導入されて、区民ニーズを着実に捉えているとい

うことを鑑みますと、おおむね順調に進んでいるということで評価させていただきました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

コード決済の導入、交通系電子マネーの導入などを図り、区民の利便性を進めているということ、区役所への好感度も5割を超えているということで、おおむね順調に進んでいると評価します。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

新宿区のオープンデータポータルサイト、またカタログサイトの運用、あるいはオープンデータの公開活用の推進等の取組が順調に行われていると思われましたので、おおむね順調に進んでいるとしました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

大体皆さん同じ観点からおおむね順調と書いておられるので、これをまとめる形で掲載するということがよろしいでしょうか。

今後の取組の方向性に対する意見ですが、私は書かない窓口のことを書いたんですね。前もちょっとヒアリングのときにお話ししたかもしれないんですけども、記載台、今も1階で見えたら、記載台で一生懸命住所、氏名・住所等を書いておられるんですけども、あれ結構手間なので何とかならないのということで、今、書かないワンストップ窓口ということが、北海道の北見市で始まり、横須賀市だったですかね、神奈川県横須賀か平塚でやり、そして鳥取県の米子市がやりということで、今、4つ系統があって、デジタル庁のほうでその4つの系統を推奨するというふうに、公式に5月か6月に河野大臣が言っています。公式に載っているんですね。なので、これからの自治体というのは、やっぱり書かせないというか、そういう便利さを求められるのかなと思っています。

仕組みとしては、やってきたときに、受付の窓口で、幾つか受付の窓口があって、そこで何しに来られましたかと聞かれて、転入届に来ました、じゃ、転出証明書を出してください。その職員がボタン、その人の名前を入力すると、学童期の子どもがいるとか何とかばーっと出てきて、これは国民健康保険と何とかと何とかなの手続きが必要であるということを、ぼんぼんと職員が押すんですね。そうすると、何と何と必要手続きというのがばーっと出てきて、かけてお待ちくださいって、しゃべって、座って待っているだけです。

後ろのほうにその信号が行って、後ろのほうでRPAという処理が終わって、そしてこの座っている窓口のところに、呼び出されて、座って署名したら全部手続きが終わるようになっているんですよ。

これはやっぱり、住民にとっては画期的なことなので、そういうふうにしてもらいたいな

ということを、ここに書いたんですね。結構お金もかかることだし、いきなりは無理だから、ひょっとしたら新庁舎のときになるのかもしれないですけども、ぜひちょっと検討してもらったらなということを書いております。

**【委員】**

今おっしゃったように、やはりスリム化、簡素化ですね、区役所に行って、すぐ終わるということが非常に楽な、手続をするというのはすごくハードルが高いんで、簡素化になってすぐ終わるといのは、非常に有り難いことだと思いますんで。

あと、何が必要かというのは、事前にやはり調べていかなくちやいけないものですから、この転入してきましたというだけ言って、あと区のほうからこれとこれで、家族のことはこういう手続がと言っただけであれば、先生書いたようにワンストップ窓口です。やはりこういったものがあると、区民の方も安心して手続ができるということなので、本当に画期的で、あってほしいと願うところですけども、それもサービスの一環だというふうに思っていますので、ぜひお願いいたします。

**【部会長】**

ありがとうございました。

**【委員】**

行政手続のオンライン化については、スピード感を持って取り組んでいただきたいと思う一方、情報システムの構築というのはとてもエラーも出ることなので、そこら辺は、これは外部評価で言うことではないのかもしれないんですけども、区としても人員の強化とか、そういうサポートもしつつ進めていただきたいと思います。

24 時間申請可能で、来庁する必要のない区民サービスというのは有り難い一方、やはり顔の見えないサービスというのに不安を抱く方もいらっしゃるということで、たまたま近くの方とちょっと話をしたときに、スーパーのレジなんか、私は早いし自分でできちゃうんで自動レジのほうにどんどんどんどん進むんですけども、わざと、どうしてもレジの人の顔が見えないところするのは嫌だという、男性のお年寄りの方だったんですけども、いたので、そういう意見もあるんだなと。今、コンビニのレジもやはり自分がというんで、ただそういうところに慣れない人とか、顔が見えないと嫌だという意見もあるということ、忘れないでいただきたいなと思いました。

**【部会長】**

ありがとうございます。

他には、区民の皆さんに知っていただく一文が必要だということですね。

ということで、今後の取組の方向性に対する意見としては、私の書いている書かないワンストップ窓口も検討してもらいたいということと、それから、スピード感を持ってやっていただきたいということと、それから顔の見えないサービスに不安を抱くお年寄りもいるので、そこから区民の皆さんに知っていただく話もつなげてと、この3つぐらいを載せていただくということよろしいでしょうかね。

ありがとうございました。

その他意見・感想です。

**【委員】**

区役所への好感度について、令和9年度の目標水準は55%を超えていく勢いがあります。引き続き区民に寄り添った行政サービス向上期待したいという思いです。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

感想ですけれども、マイナンバーカード申請時には、区役所1階では、窓口に多くの人員を配置して、スムーズな流れで申請を行うことができるようになってきていると思います。やはり区役所としては、区役所の対応に対してのネガティブな評価というのにとっても気をつけていらして、マイナポイントの申請もそうなんですけれども、皆さん、とてもたくさん的人员を配置してスムーズにできるようにしているので、大変素晴らしいと思っています。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

今の区役所、出張所の好感度は高いと思います。以前に比べるとすごくよくなっているんです。今後、電子化等で手続きが変わっても、区民への丁寧な対応は継続していただければと思っております。よろしくをお願いします。

**【部会長】**

ありがとうございます。

皆さん非常に好印象を持っておられるということで、これらの意見をまとめて全部載せる形で、その他の意見・感想ということでよろしいですかね。

ありがとうございました。

これで、Ⅰ－7、Ⅲ－16、Ⅴ－1の3つの施策評価についての取りまとめが終わりましたので、いただきました意見と、その都度こういうふうにまとめていきたいと思っておりますというふうに申し上げたことを基に、事務局には大変ご苦勞さまでございますけれども、取りまとめていただいて、私のほうで確認させていただくということで、よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございました。では、そのように進めさせていただきます。

次回の内容等について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

**【事務局】**

皆様、お疲れさまでした。

本日で部会の取りまとめが終わりましたので、現在ご予約いただいている8月15日のご予定は、リリースをしていただくということで、よろしくお願いいたします。

この後、事務局と部会長とでやり取りさせていただいて、第3部会の評価案をつくってい

きたいと思います。

今後のスケジュールですが、昨年同様、10月に全体会を実施して、各部会の評価結果を委員会全体の評価として承認する場を設けます。10月23日月曜日の午前9時半から12時、そこで終わらなければ、その翌日、10月24日の火曜日午後1時から午後3時、この2つの時間帯で実施させていただきたいと思います。

それから、例年、外部評価委員会会長から区長に評価結果を報告する機会があるんですが、今年は11月14日に実施する方向で調整をしております。詳細が決まりましたら、メール等でご連絡するようにいたします。よろしくお願いいたします。

**【部会長】**

ありがとうございました。

それでは、以上で閉会したいと思います。

次は10月23日ということでございます。今日はこれで終わります。

お疲れさまでございました。

<閉会>